

ステンレス鋼構造物のエンジニアリング機能強化 ～愛鋼(株)「一般建設業の許可」取得～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、2030年ビジョンに基づく成長戦略の1つとして、ステンレス鋼構造物のエンジニアリング機能強化を進めています。その一環として、子会社の愛鋼株式会社（取締役社長：古寺実、以下 愛鋼）が、「一般建設業の許可^{※1}」を取得しました。

当社では、1996年にステンレス鋼構造物のエンジニアリング部門を立上げて以来、お客さまのご要望に応じた設計協力・工場製作・現場施工を通して、ステンレス鋼構造物の普及に努めてきており、2030年には現在の5倍強の50億円の売上を目指しています。

この成長戦略実現のため、2019年に工場製作内製化の拠点として愛鋼 衣浦第2工場を立上げ、主に土木・水処理分野を中心に大小65件のステンレス鋼構造物を手掛けてきました。2023年には「ステンレス建築構造物製作工場^{※2}」認定を取得し、建築分野、特に需要旺盛な医薬品・食品・飲料工場建設に伴うステンレス鋼構造物の工場製作・現場施工にも注力してきています。

この度、愛鋼が「一般建設業の許可」を取得したことにより、当社グループで手掛けられる現場施工の規模が拡大します。さらに、2024年度上期には愛鋼 衣浦第2工場の工場製作エリアを拡大し、能力増強を図ります。これらの取り組みを通じて、当社グループはステンレス鋼構造物の普及に貢献していきます。

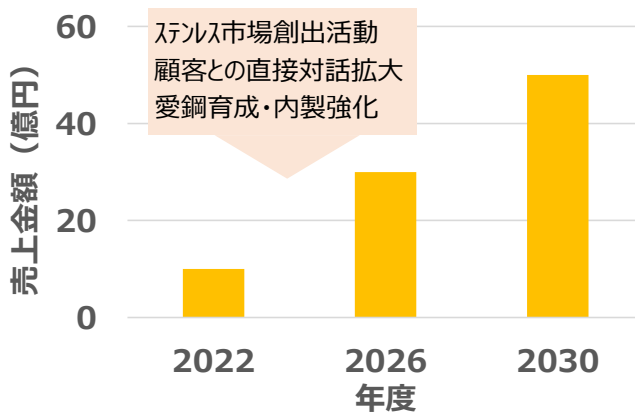
引き続き、ステンレス鋼材のエンジニアリング技術により、付加価値の高い製品・サービスでお客さまのお役に立ち続けていきます。

※1 許可建設業の種類は「鋼構造物工事業」

※2 一般社団法人日本鋼構造協会 建築鉄骨品質管理機構が、ステンレス建築構造物の鉄骨製作の品質確保に対する技術力を評価し、安定した品質及び性能の製品を供給できる工場を認定する制度



工場製作の一例



ステンレス鋼構造物エンジニアリングの売上計画